SuperMap 倶楽部

SQL 導入セミナー

【SQL Server 2005 Express Edition の活用】

SuperMap は、SQL サーバー上にデータを簡易に構築できる。

無償の SQL Serve 2005 Express Edition を使って GIS データの共有、グループ作業環境を容易に構築できる。

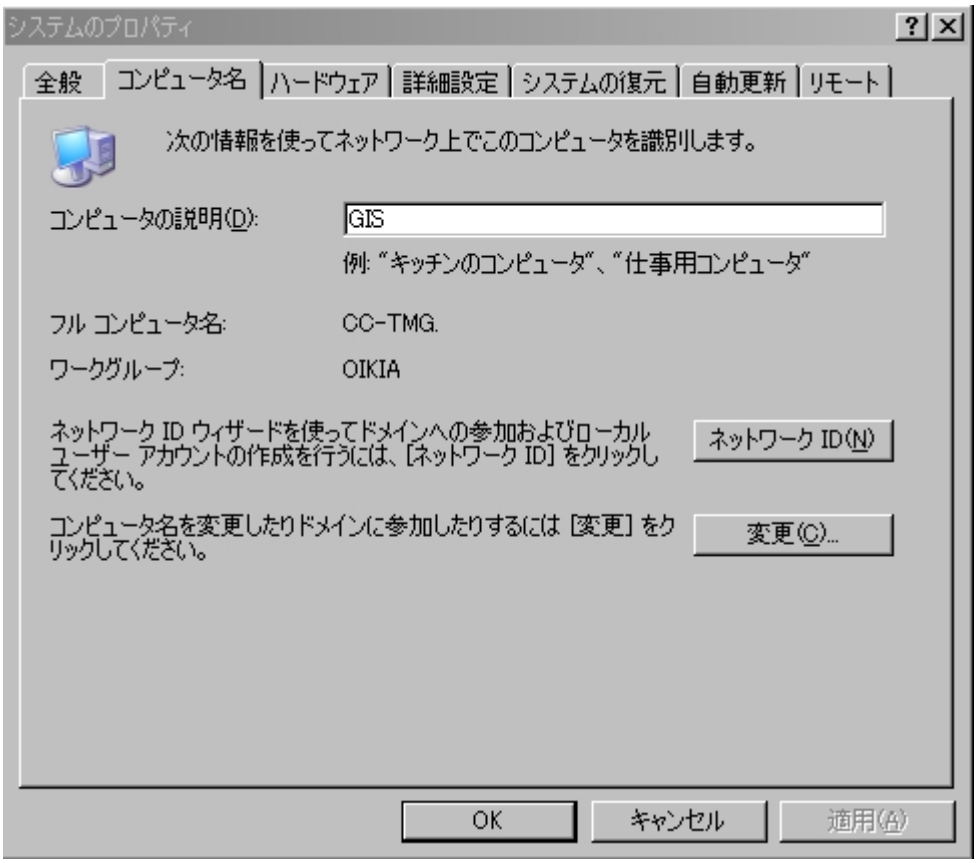
（参考図書：今井聡（2007）SQL Server2005 Express Edition で学ぶ かんたんデータベース,秀和システム,￥2000）

200804

【SQL Server 2005 Express Edition の活用】

【SQL Server 2005 Express Edition のインストール】

PC の「フルコンピュータ名」を確認しておく



１．インストールの手順

（参考図書：今井聡（2007）SQL Server2005 Express Edition で学ぶ かんたんデータベース,秀和システム,￥2000）

①OS のアップデートを適用する

◎「スタート」＞「すべてのプログラム」＞「Microsoft Update」or「Windows Update」を起動。必要に応じて、IIS のインストールを確認する（プログラムの追加でインストールする。）

②　．NET Framework 2.0 及び日本語 Language Pack をインストールする

◎「dotnetfx.exe」を実行（実行ファイルは、マイクロソフトの HP から入手する）

◎「langpck.exe」を実行（実行ファイルは、マイクロソフトの HP から入手する）

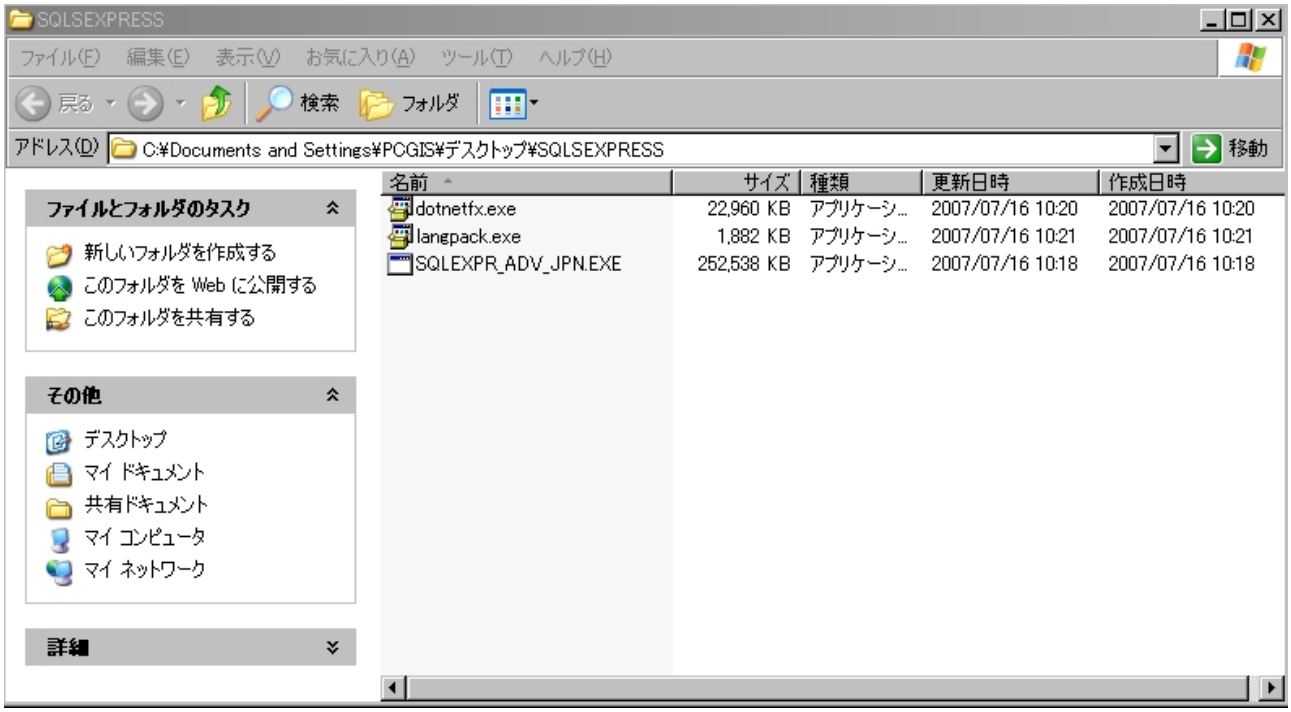
③ SQL Server 2005 Express Edition Wwith Advanced Service をインストールする。

全てのコンポーネントのセットアップの状況を確認する。セットアップに失敗（冒頭の IIS がインストールされていない場合等）した時は、再インストールを行う。再インストールを実行する時は、SQL Native Client を削除（コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を実行）してから再インストールを行う。

（インストールに必要なファイル参考図書：SQL Server 2005 Express Edition で学ぶかんたんデータベース、今井聰、秀和システム、2007 の手順を踏襲しています）

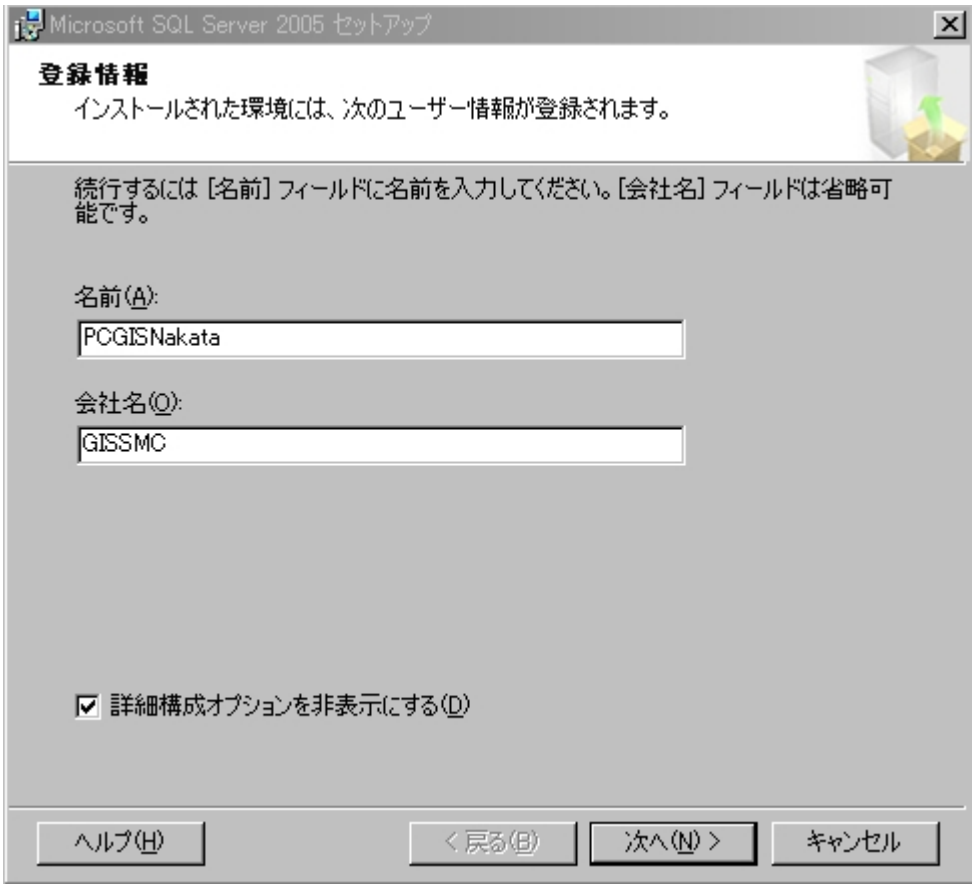
「dotnetfx.exe」は http://www.microsoft.com/japan/msdn/netframework/downloads/で入手可能

「langpack.exe」及び「SQLEXPR_ADV_JPN.EXE」は同じく Microsoft ダウンロードセンターから入手可能。



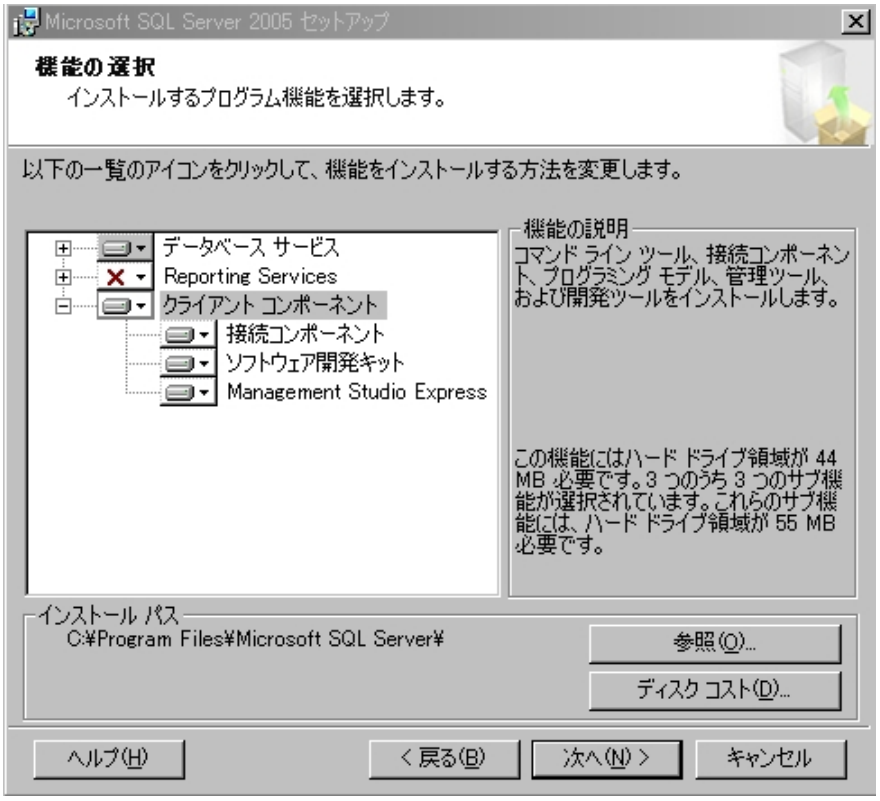
SQL Server2005 Express Edition Wwith Advanced Server のインストール

（各種設定・例）

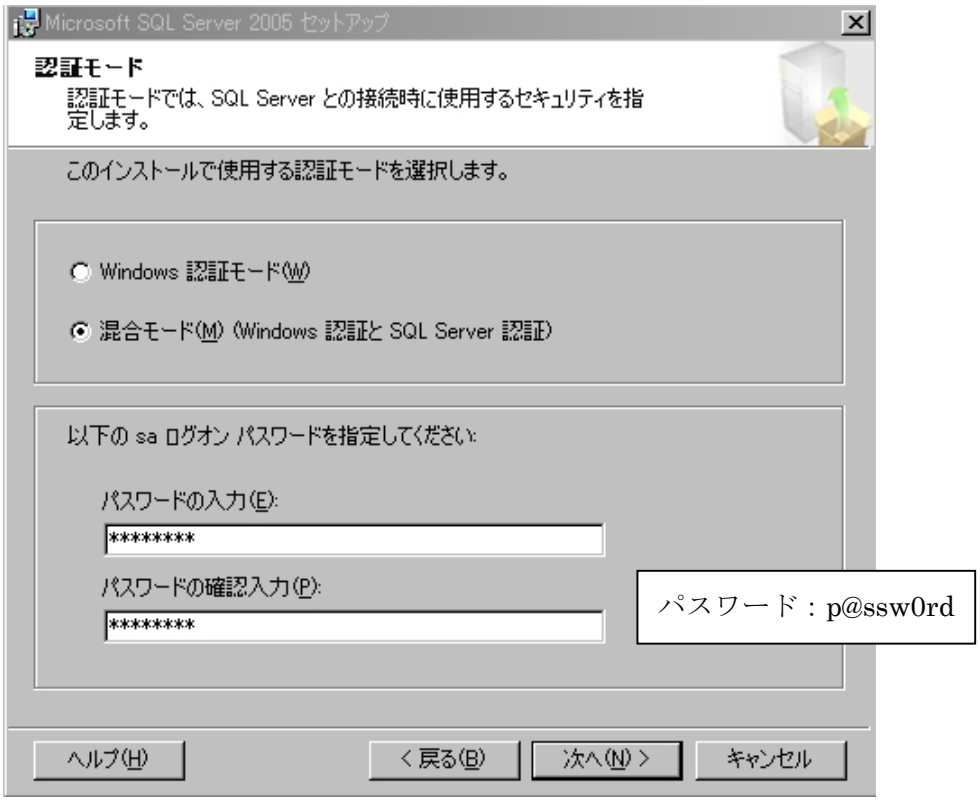


インストールする機能の選択

「クライアントコンポーネント」をクリックして「ローカル ハードドライブにすべてインストール」に設定を変更。

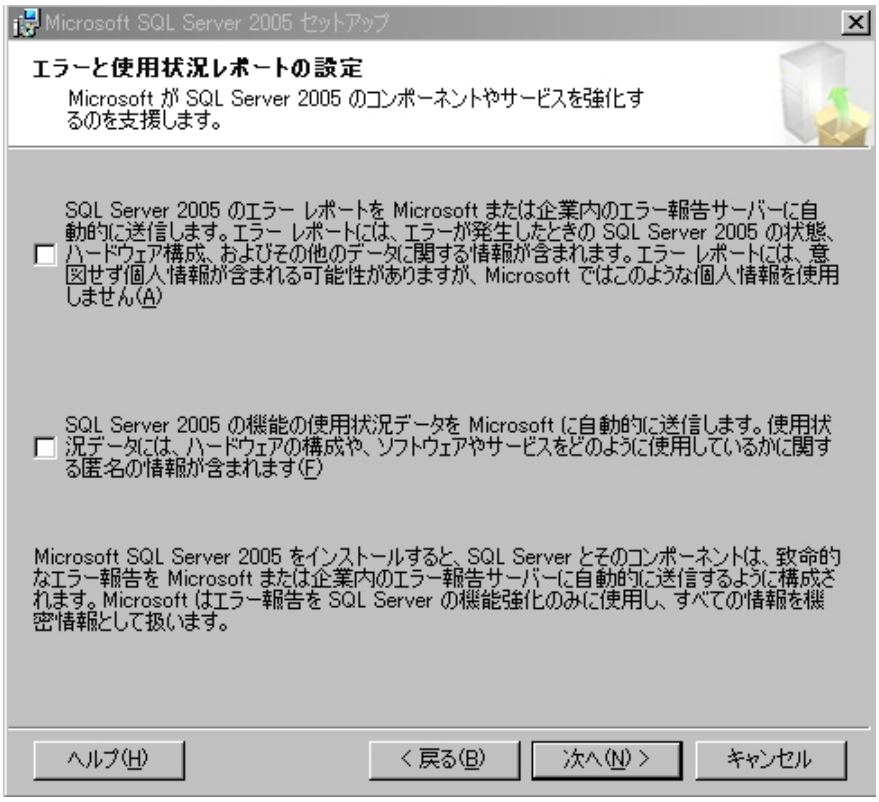


【設定後の画面表示】→次へ



「認証モードの設定」・混合モードを選ぶ・パスワードの入力→次へ

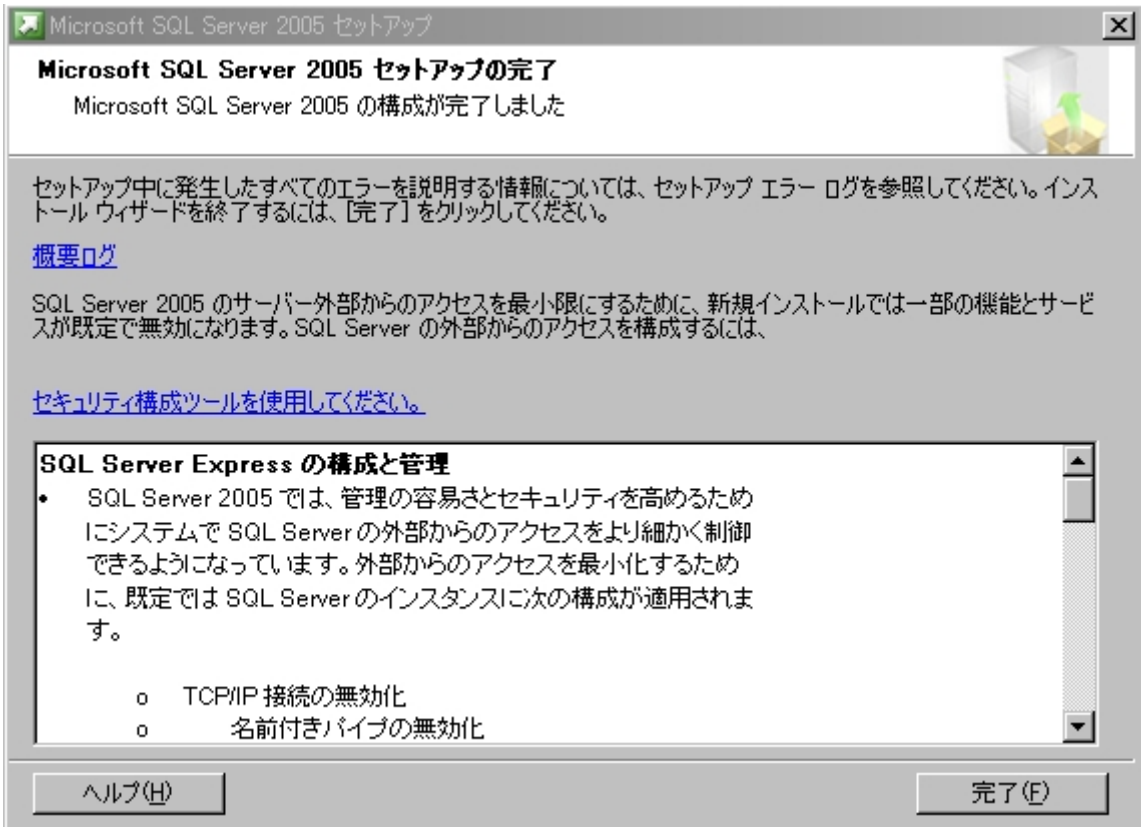
続いて、「照合順序の設定」「ユーザーインスタンス」「エラーと使用状況レポートの設定」は設定を変更しないで→次へ

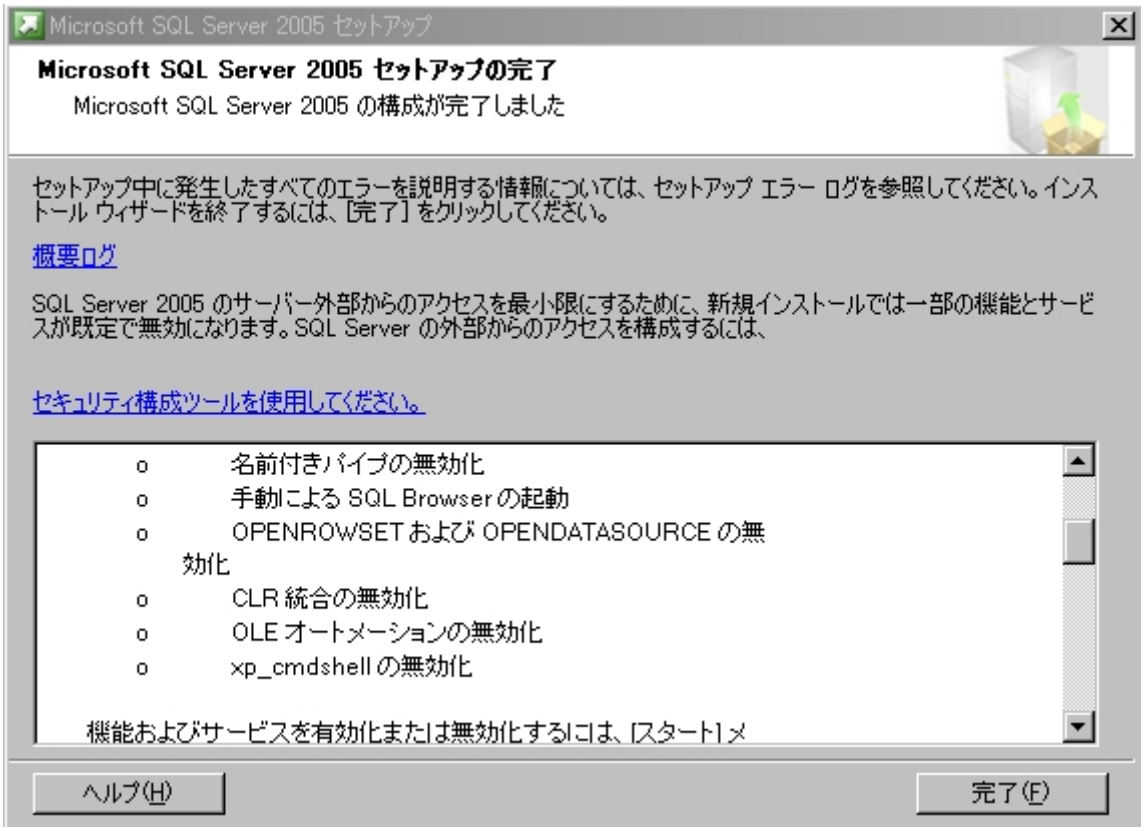


【インストールの準備完了画面】を確認→インストール

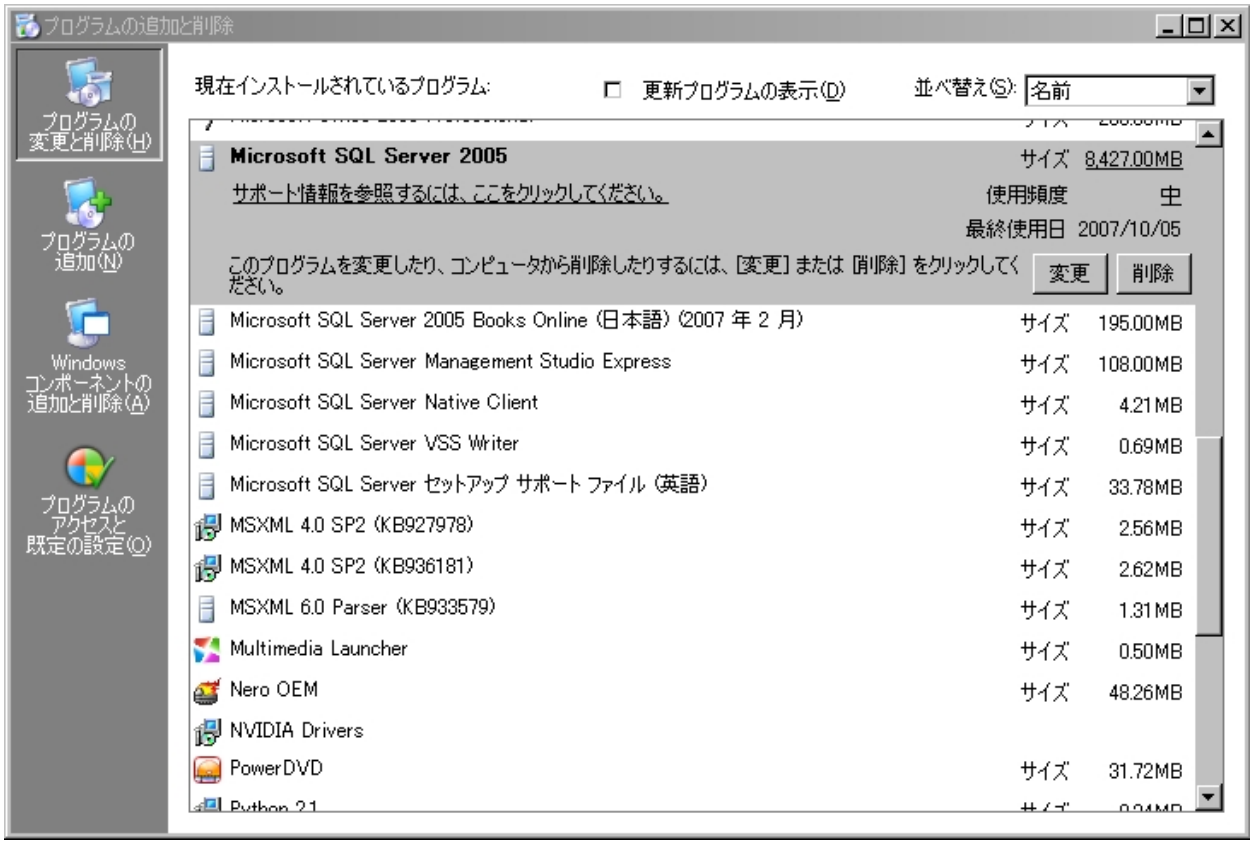
全てのコンポーネントのセットアップの状況を確認する。セットアップに失敗（冒頭の IIS がインストールされていない場合等）した時は、再インストールを行う。再インストールを実行する時は、SQL Native Client を削除（コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を実行）してから再インストールを行う。削除しないと再度セットアップに失敗することがある。

【セットアップの完了状況】



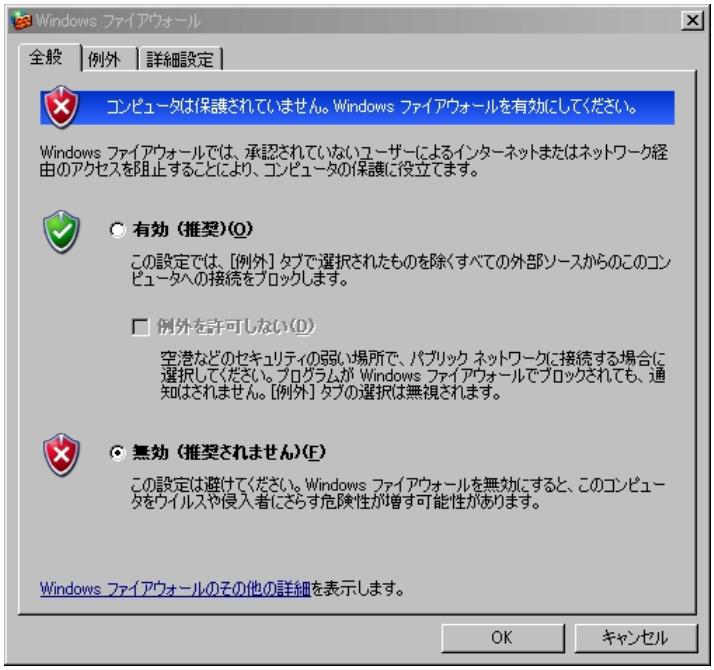


【インストールされたプログラムを確認】

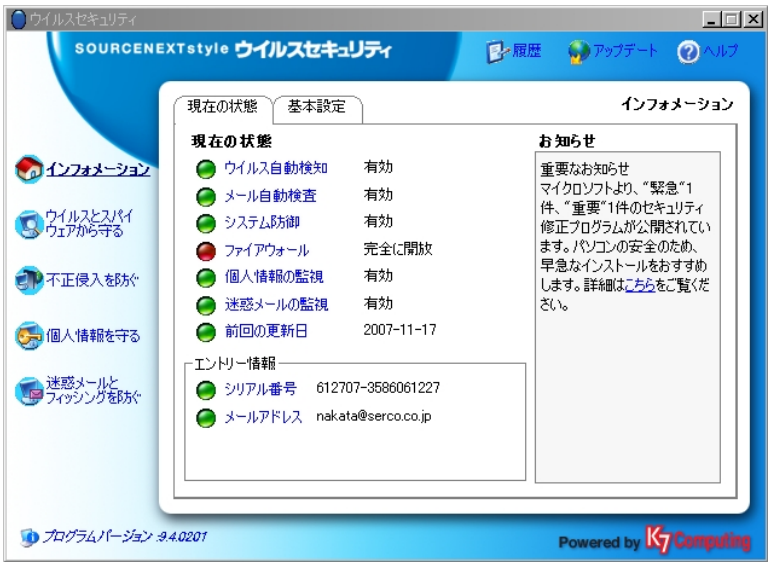


２．各種設定

【ウィンドウズの設定】Windows ファイアウオールを「無効」に設定



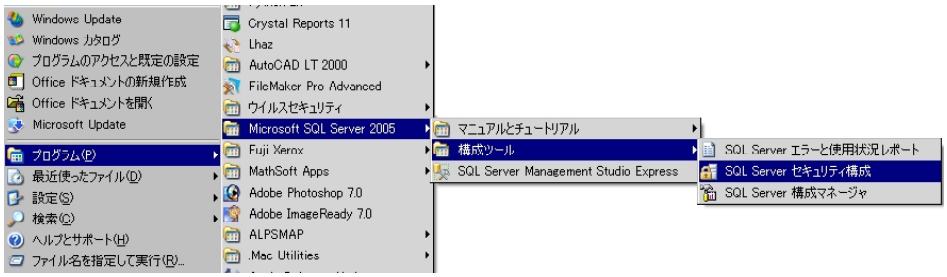
その他ウイルスソフトによっては別途設定の変更が必要です。



（上記の場合にはとりあえずファイアウォールを完全に開放に設定しています）

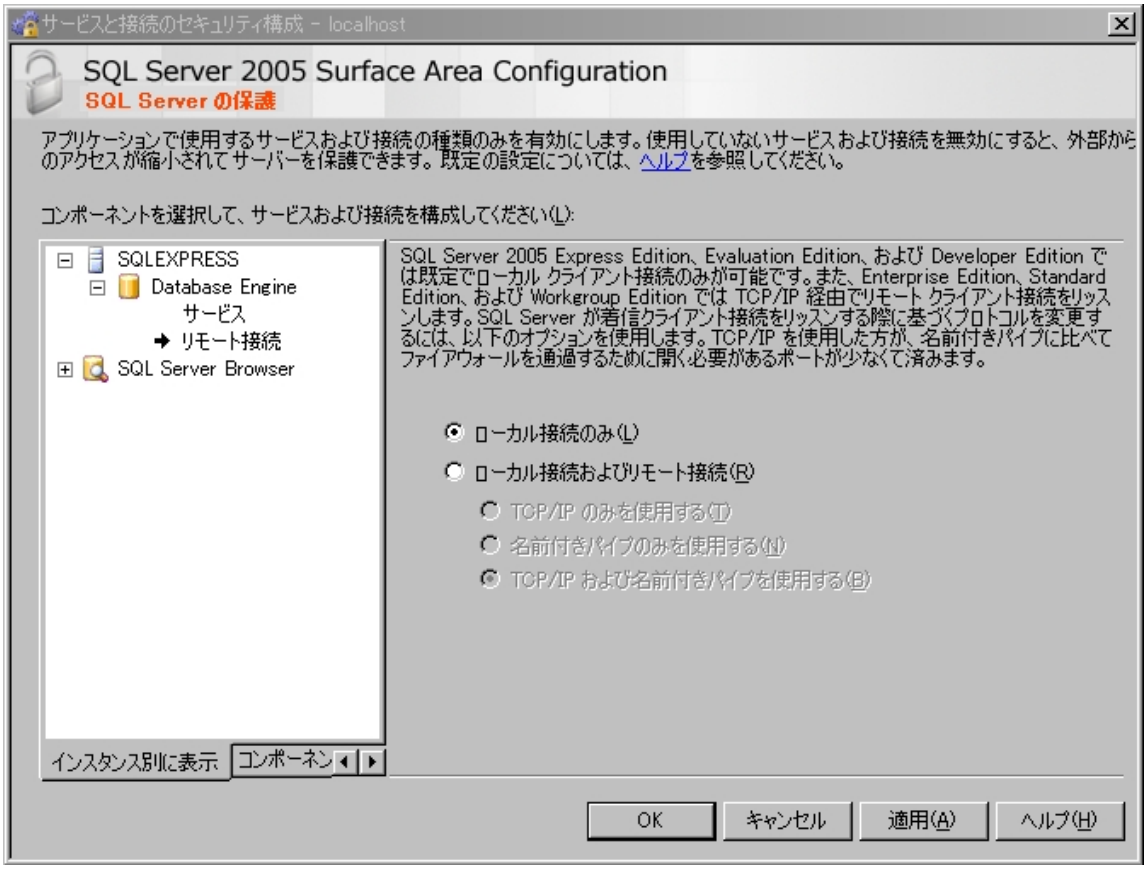
【SQL Server の設定】

【リモート接続の設定】「SQL Server セキュリティ構成」を立ち上げる



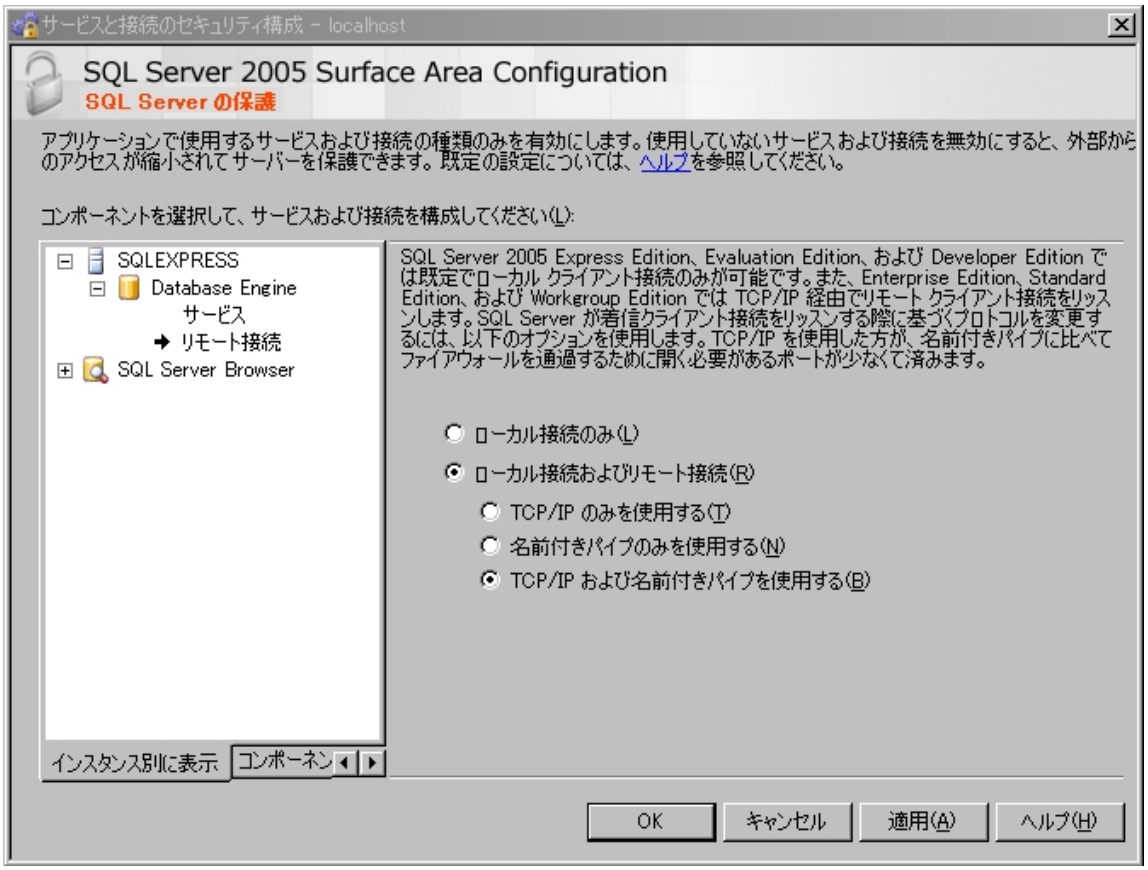
【サービスと接続のセキュリティ構成】をクリック

【リモート接続をクリック】してリモート接続を可能にする

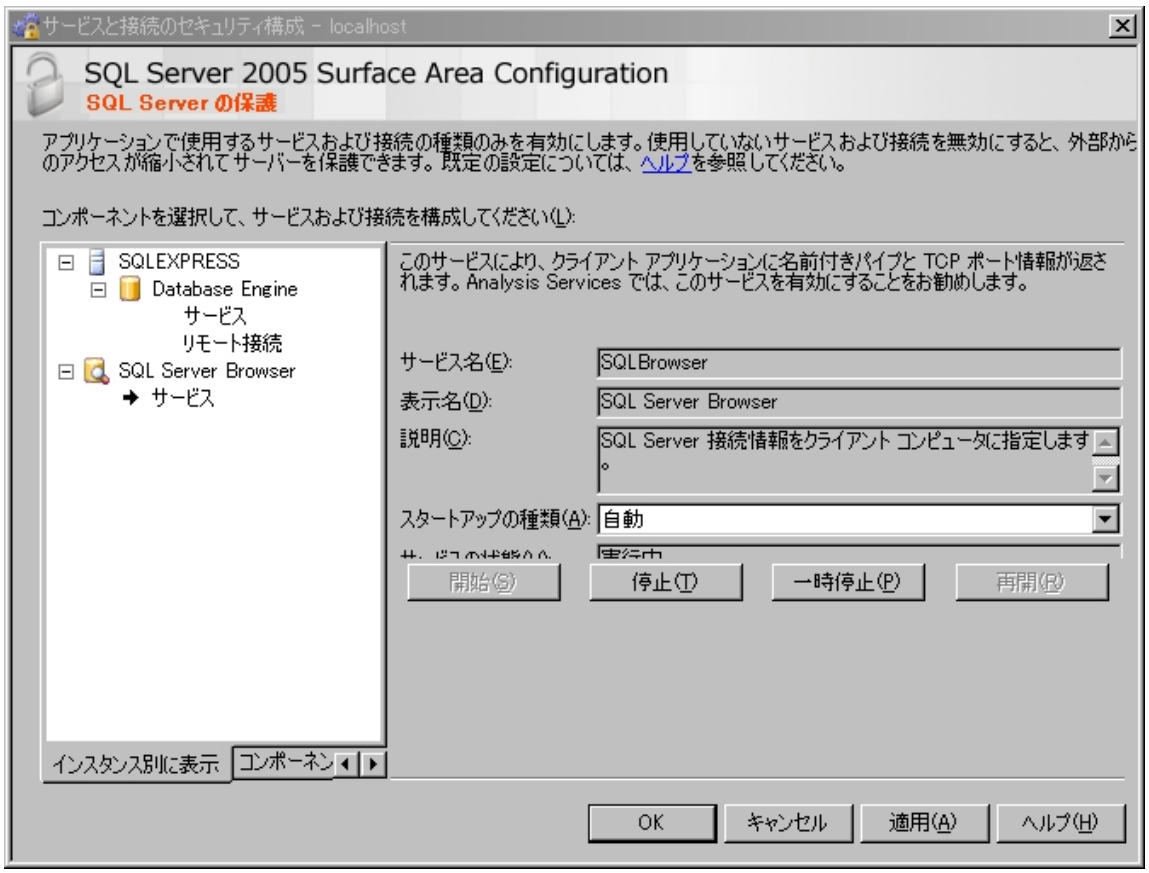


【ローカル接続およびリモート接続】の設定

【TCP/IP および名前付きパイプを使用する】を選定



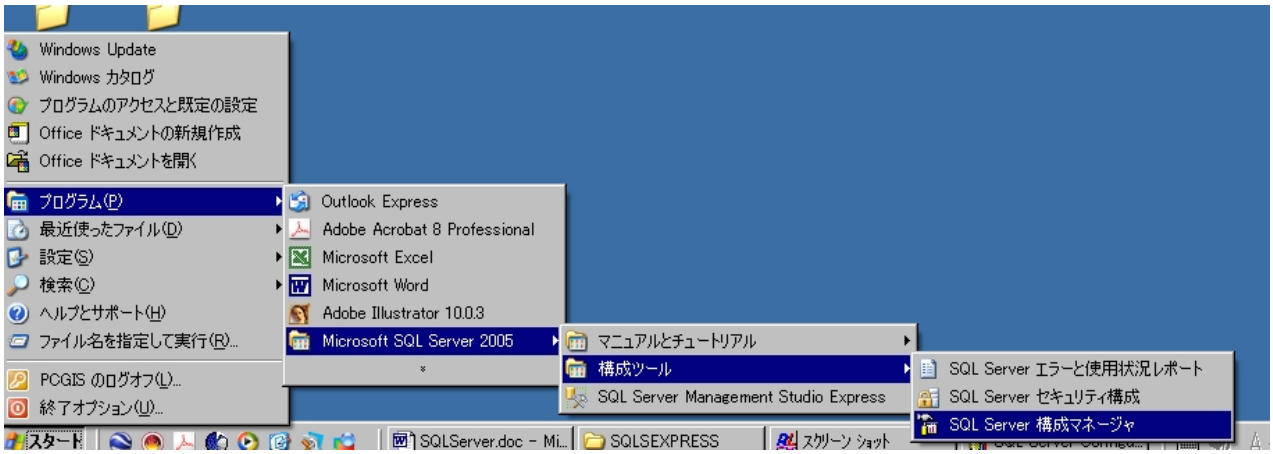
【SQL Server Browser】サービスの確認（実行中）

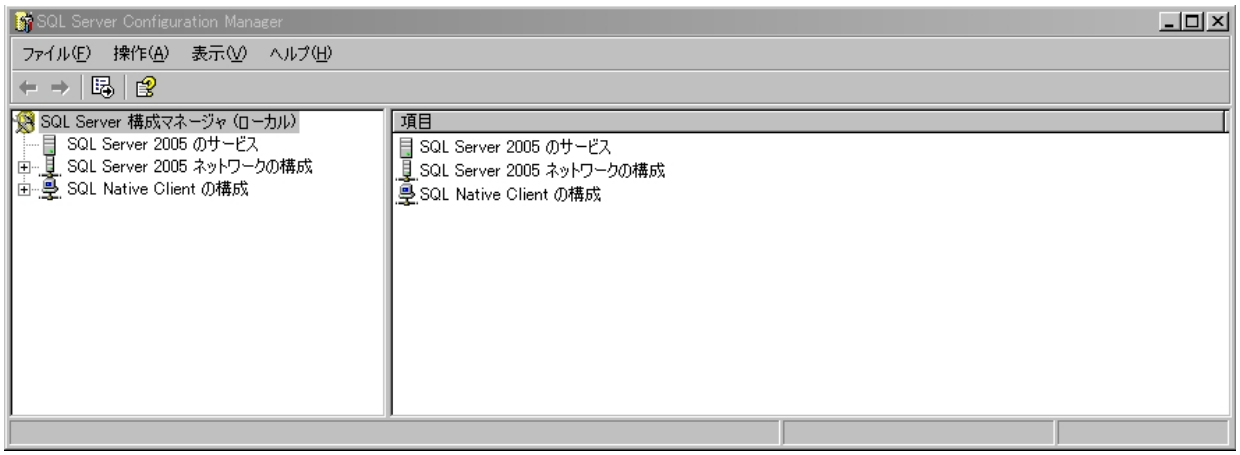


以上の設定変更に伴い SQL Server 2005 の再起動が必要となる。

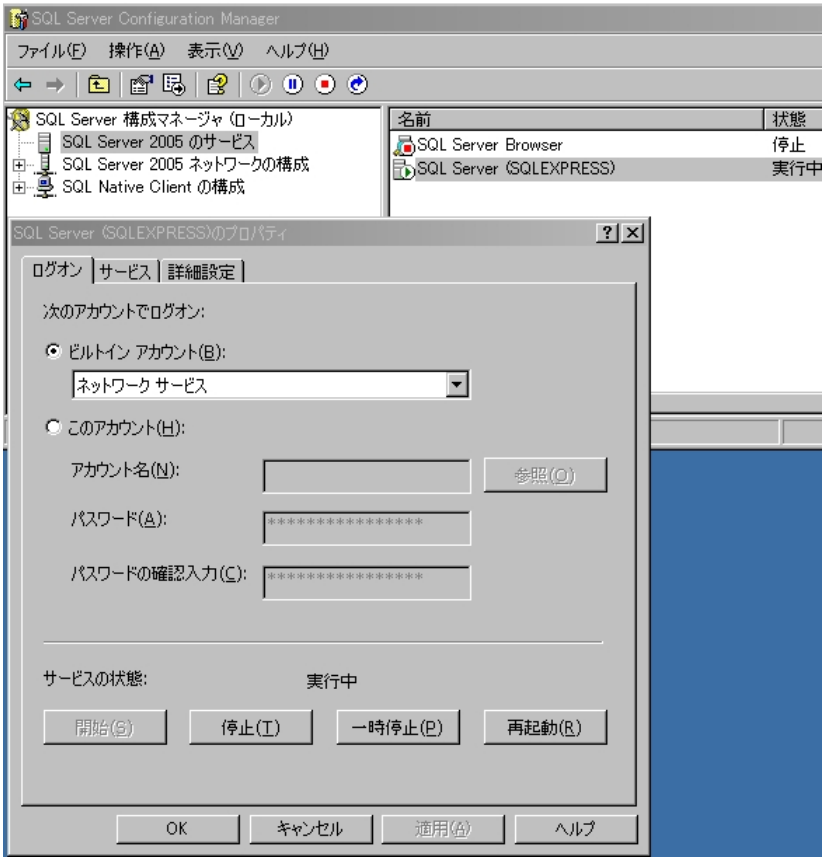
注：ローカル接続・SQL Server がインストールされている PC からの接続
　　リモート接続・LAN でつながった PC からの接続

【SQL Server 2005 の起動と停止】「SQL Server 構成マネージャー」を立ち上げる



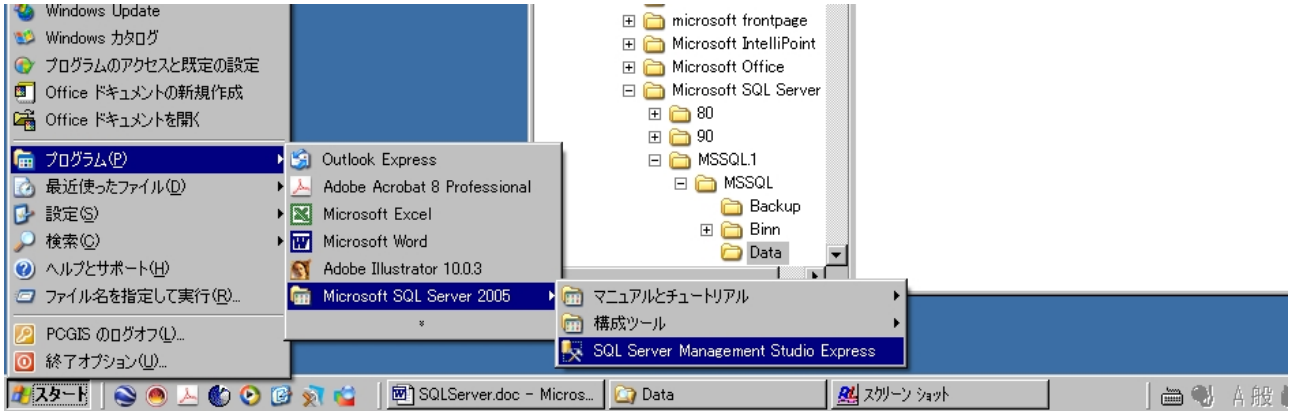


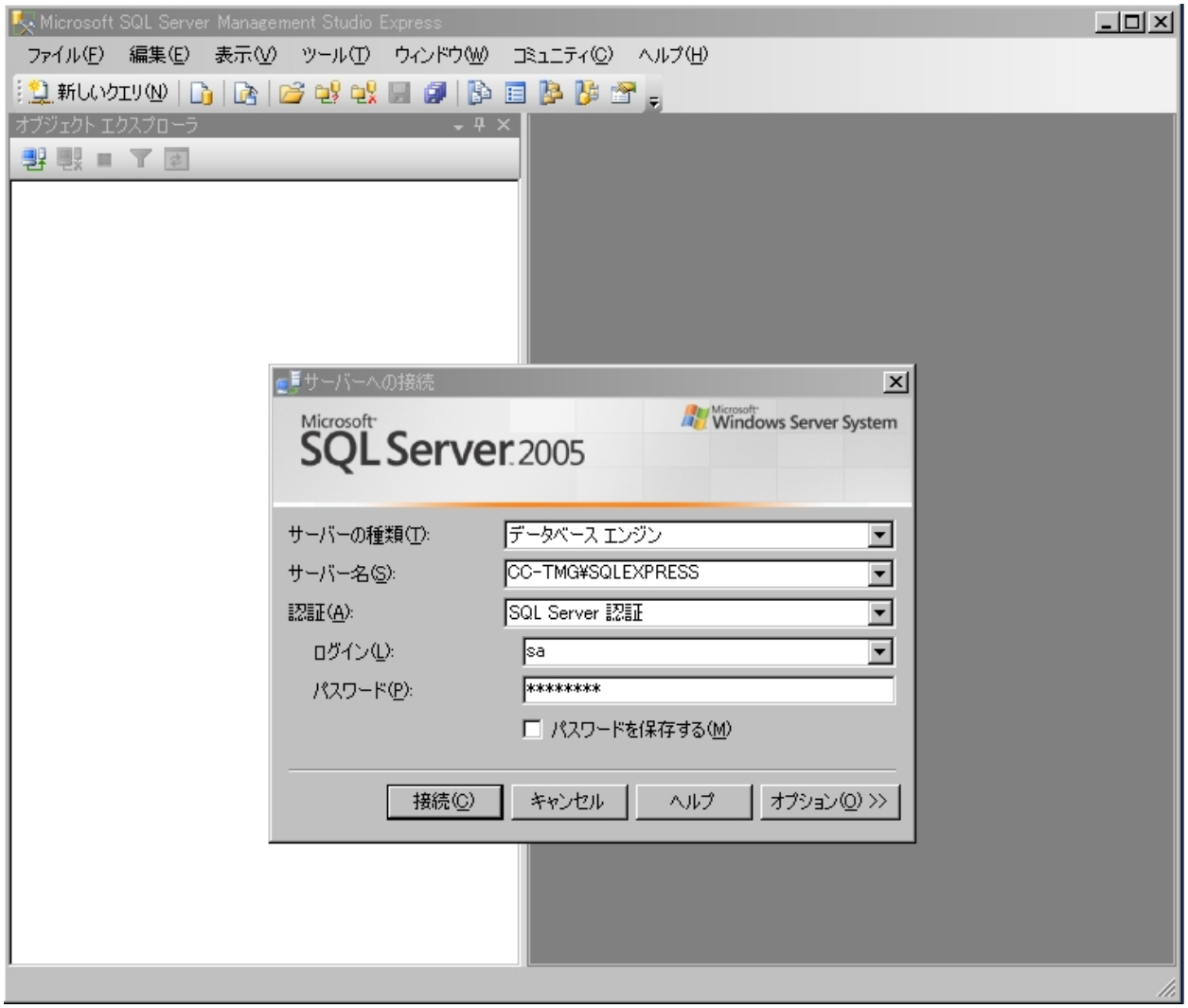
【停止】



【再起動】

【SQL Server Management Studio Express】サーバーへの接続



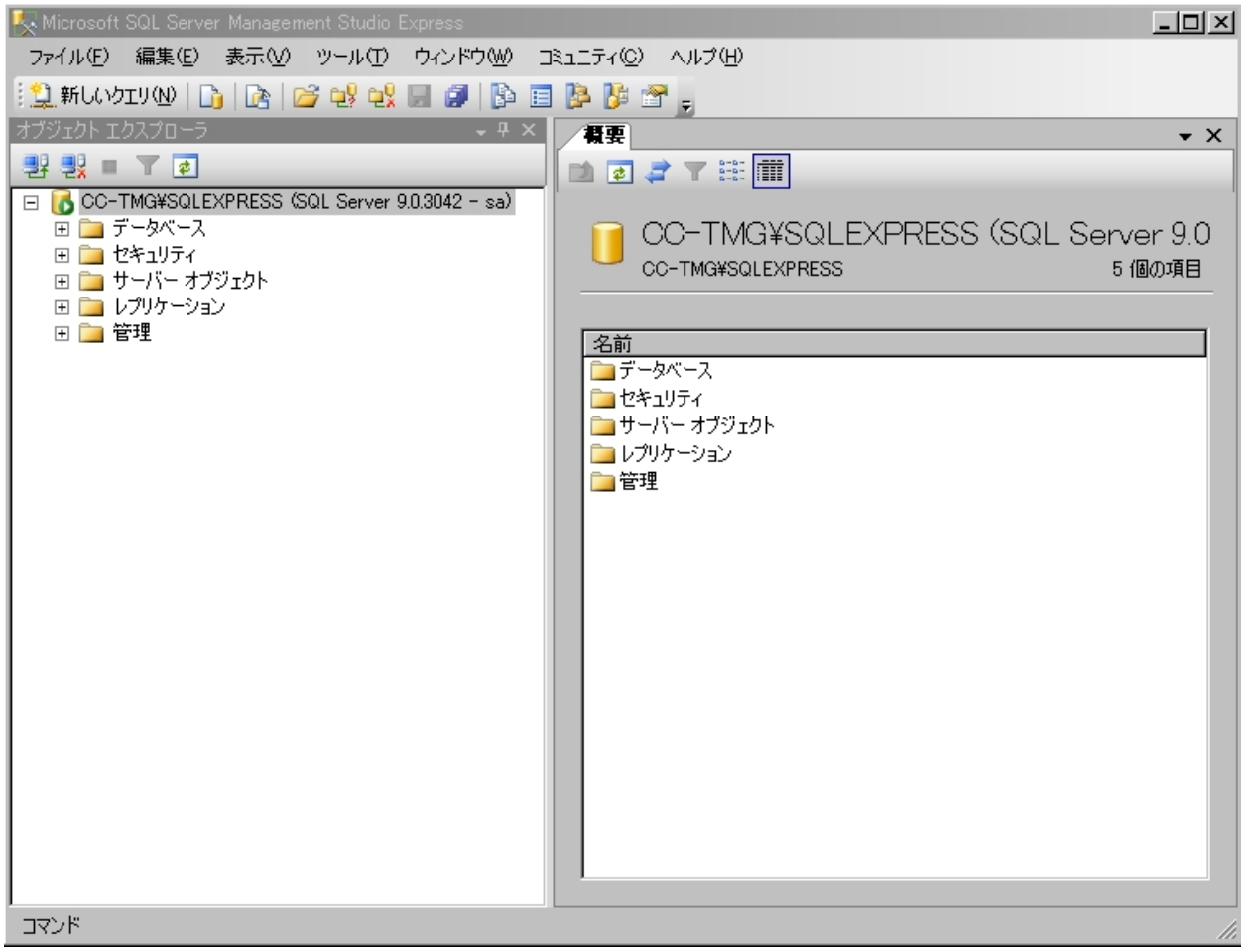


立ち上げ画面・ローカル接続

サーバー名：＜コンピュータ名＞¥SQLEXPRESS

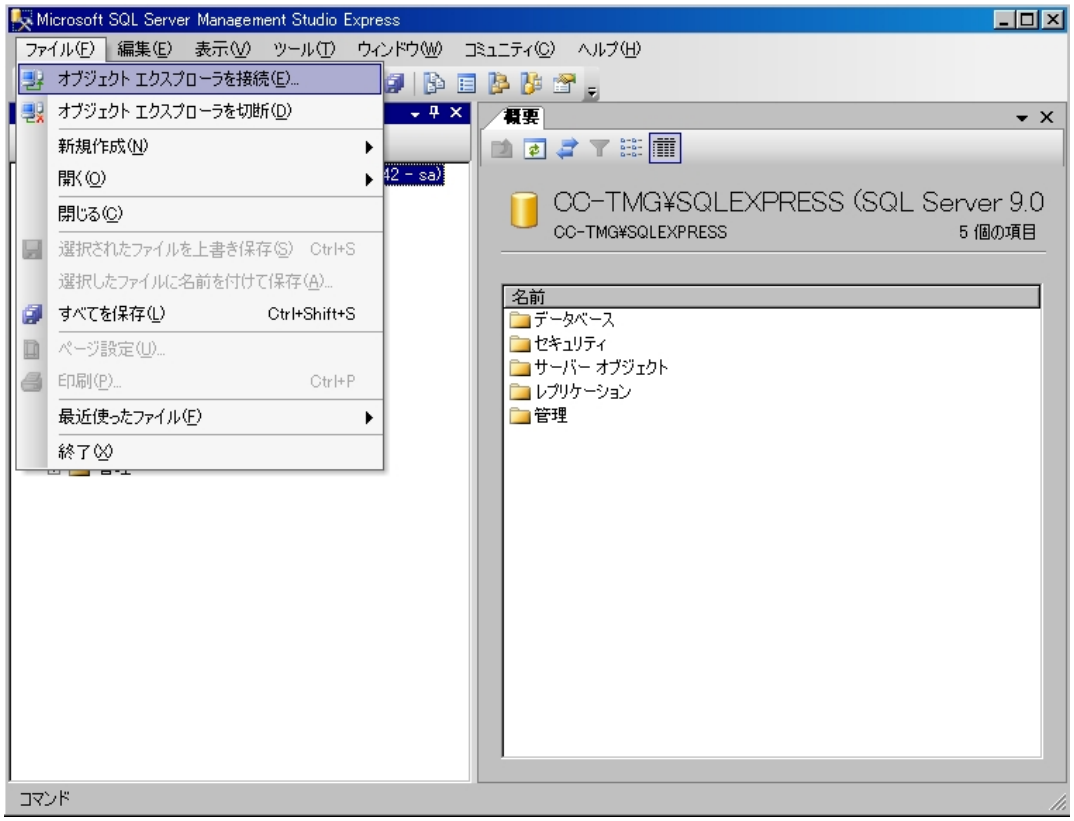
ログイン　：「sa」

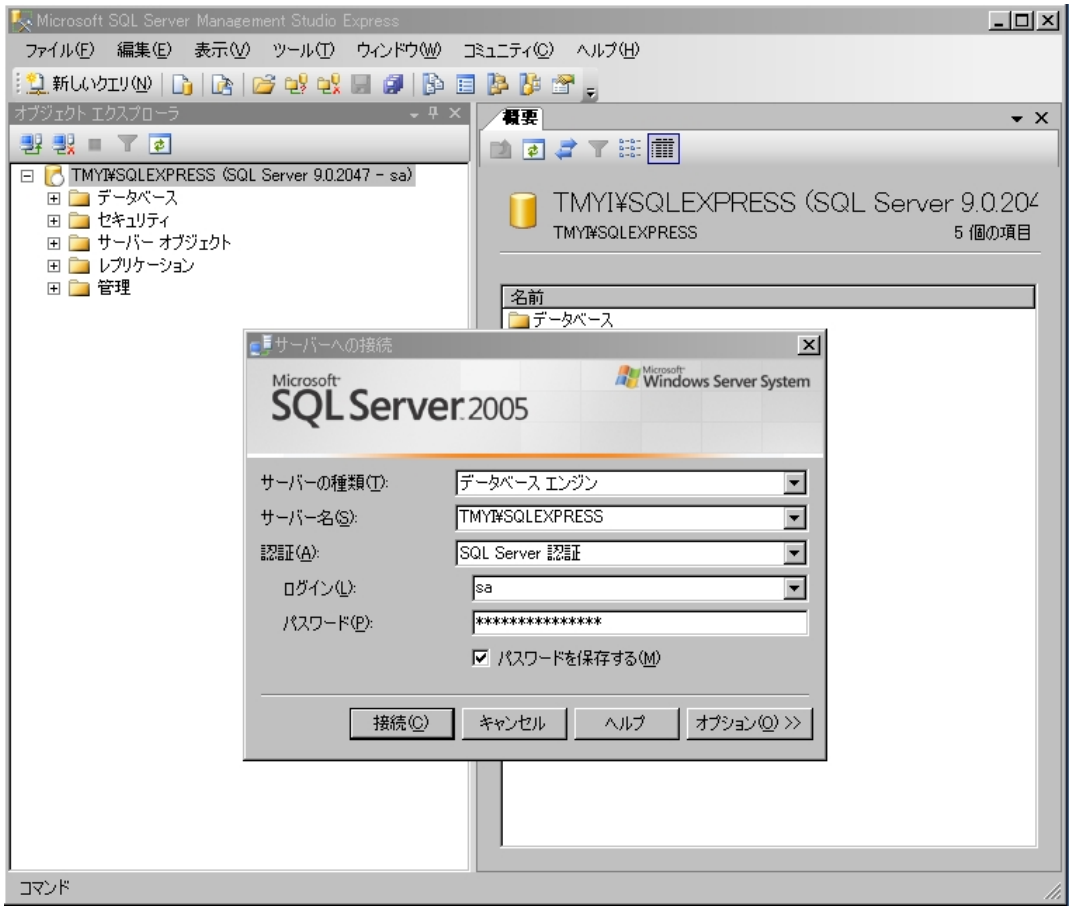
パスワード：p@ssw0rd


Microsoft SQL Server Management Studio Express
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) コミュニティ(C) ヘルプ(H)
新しいクエリ(N)
オブジェクト エクスプローラ
CC-TMG¥SQLEXPRESS (SQL Server 9.0.3042 - sa)
データベース
セキュリティ
サーバー オブジェクト
レプリケーション
管理
概要
CC-TMG¥SQLEXPRESS (SQL Server 9.0
CC-TMG¥SQLEXPRESS
5 個の項目
名前
データベース
セキュリティ
サーバー オブジェクト
レプリケーション
管理
コマンド

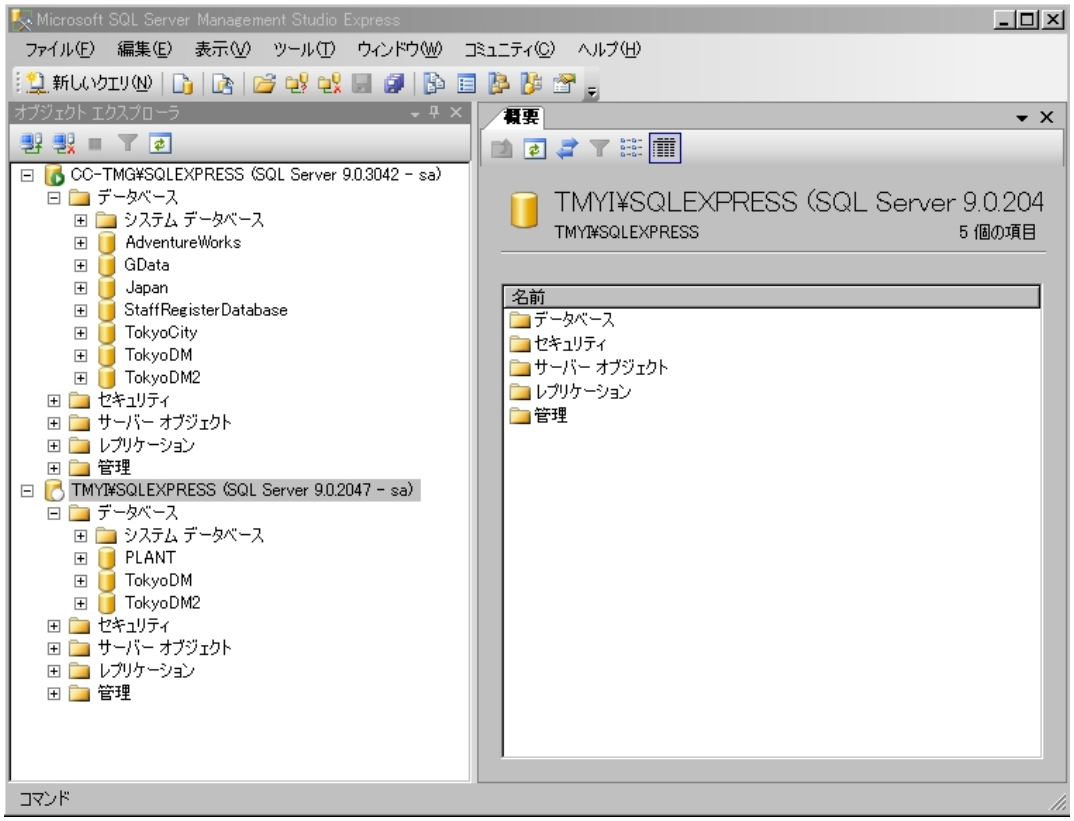
接続完了

リモート接続の例





パスワード： p@ssw0rd



接続完了画面

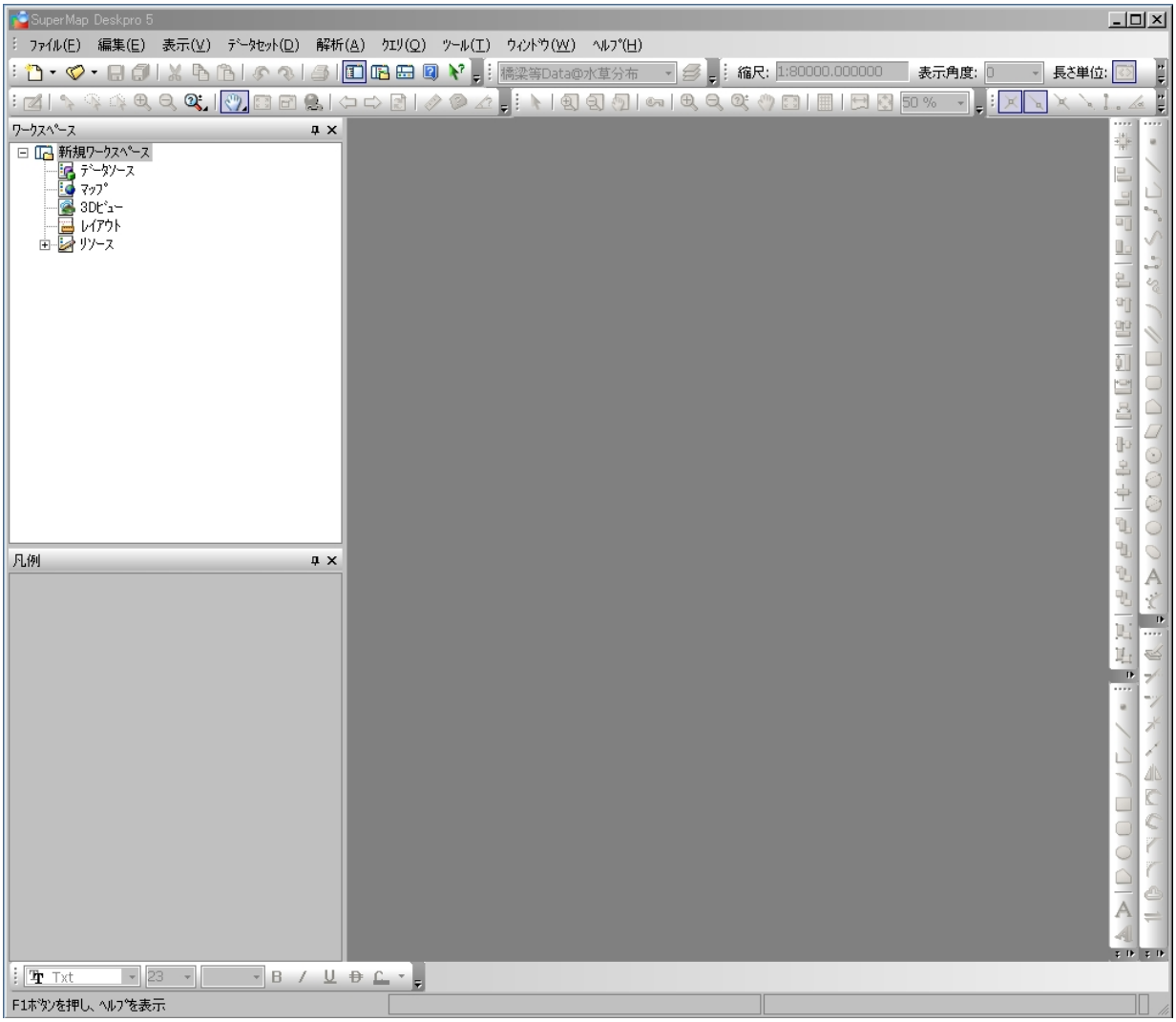
上記の画面では

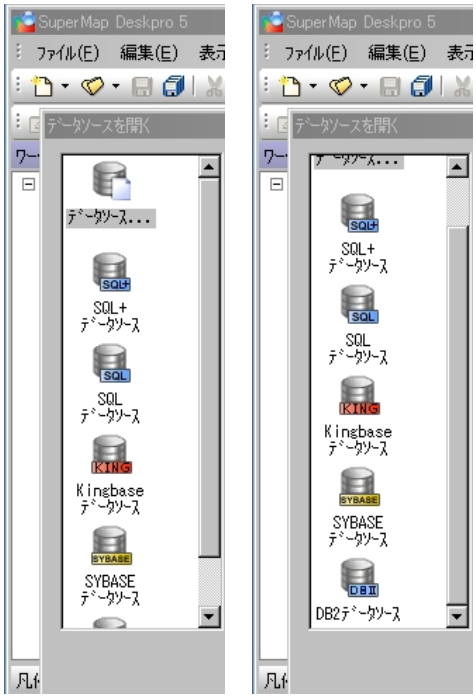
ローカル接続で、CC-TMG¥SQLEXPRESS

リモート接続で、TMYI¥SQLEXPRESS

の２つのサーバーに接続している

3．SuperMapDeskpro5 での SQLServer の使用方法

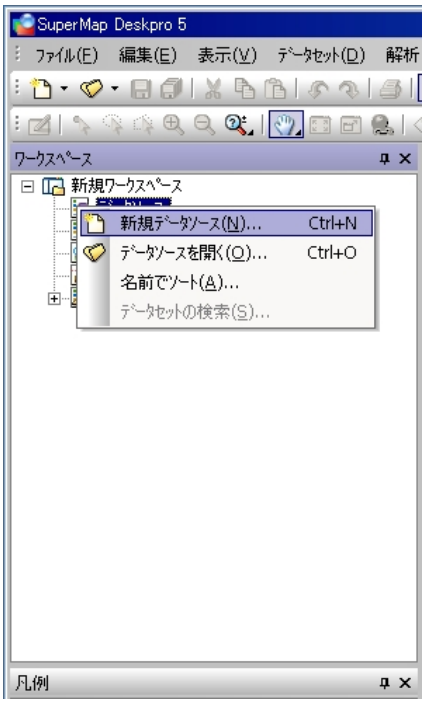




各種サーバーへの接続が可能

【新規データソースの作成：リモートサーバに作成】

①新規データソースの作成　＞　②SQL+データソースをクリック　＞　③各種設定



＞作成完了＞

（SQL+データソースの設定・作成操作例）

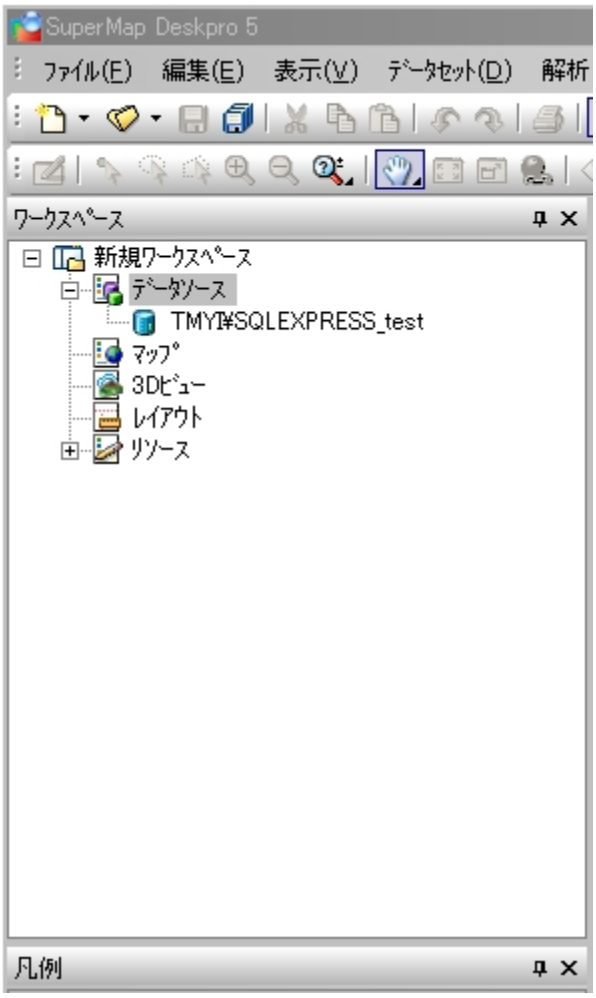
・サーバー名の入力（保存場所の設定：リモートサーバに作成可能：下図）

・データベース名の入力（データソースの名前の設定：test）

・ユーザー名とパスワードの入力（サーバーへの接続：sa、p@ssw0rd）

・開く方法の設定（投影作成：通常のデータソース作成と同様）

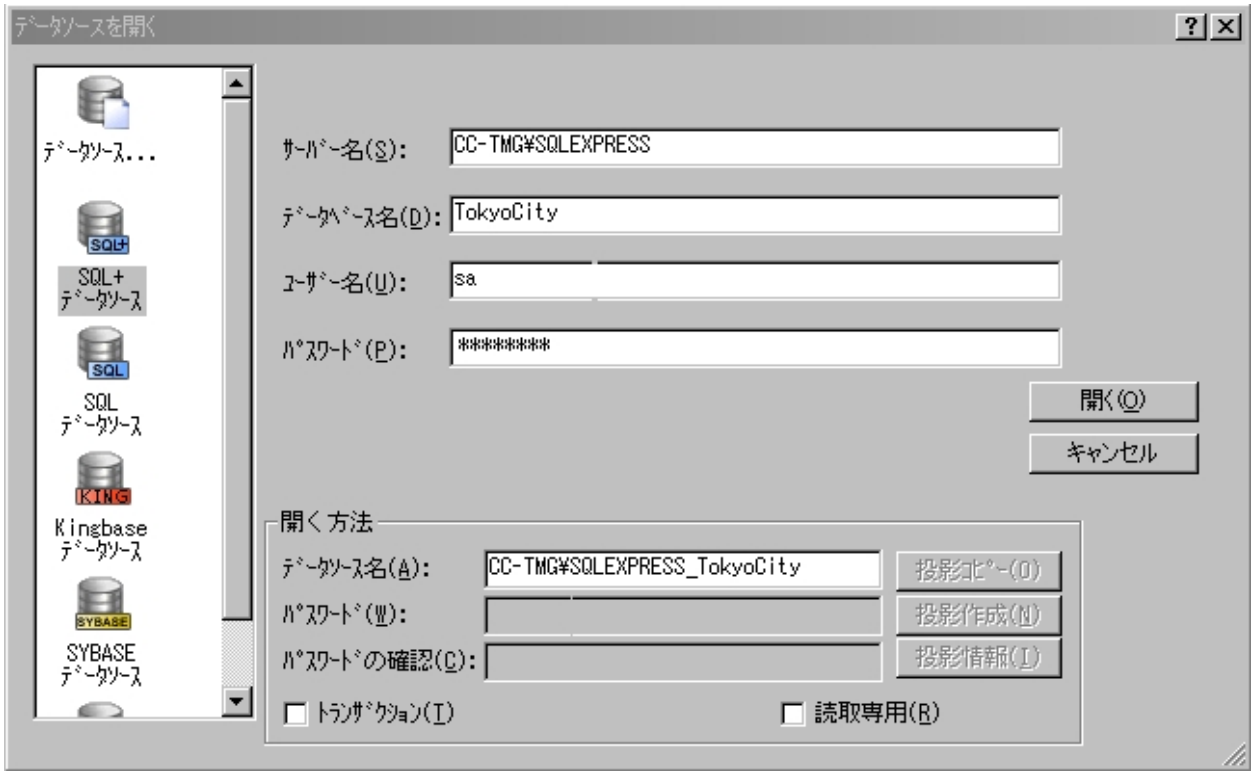
・保存をクリック

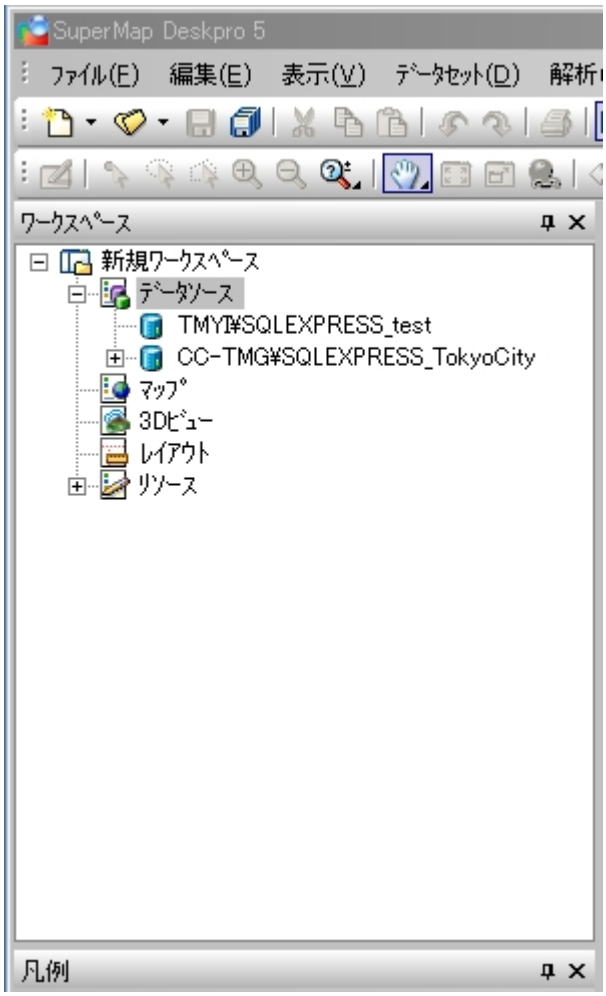


リモートサーバー上に作成されたデータソース「test」

データソース「test」は通常のデータソースと同様に使用できます（データセットの作成・コピーなど)。

（サーバーにあるデータソースを開く）





ローカルサーバー上のデータソース「TokyoCity」を開いた状況